

学年	小学校4年
教科	国語
単元	詩をかこう
目標	想像したことをもとに詩を作る
つきたい力	ある物になりきって、見えてくる風景や聴こえてくる音等を想像し、感じたことや思ったことを詩に書くことができる。
教材・問題のアイデア	教科書では空想の中の野原にいる生き物になりきって想像させたが、自分の学校にある物になりきって想像させた。クラス全体で、校庭や校舎、特別教室や体育館など様々な場所にある物について共有し、自分が何になりきりたいと思うか考えさせた。
成果と課題	<p>(成果)</p> <p>○教科書の「のはらうた」を真似て、『三鴨小4年1組の「みかもうた」をつくろう』というめあてにして、詩を書く活動を始めたところ、子どもたちの関心が高まっていた。</p> <p>○なりきる対象を身近にある物にしたため、見える風景や聴こえる音等をより具体的に想像することができた。そのため、詩を書くための元になる言葉をたくさん集めることができ、書き出しがスムーズに行えた。</p> <p>(課題)</p> <p>△生き物でない物になりきることになった児童が多く、気持ちを想像するのが難しいところもあった。</p> <p>△教室内に見えるものに人気が集中し、同じ題材で詩を書く児童が多くなっていた。</p>